

授業科目名	飼養管理学		科目コード	2302001	
開講クラス	動物健康管理学科	コース	ペット美容グルーマー コース	学 年	1年
担当教員	植村 和代				
	実務経験教員 (<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無) 実務経験内容 JKC公認トリマーB級 ペットショップ、動物病院にて勤務経験				
開講時期	前期・後期・ <input checked="" type="checkbox"/> 通年 ・ 特別講義 ・ その他		授業コマ数	31時間	
	<input checked="" type="checkbox"/> 必須 ・ 選 択 ・ 選択必須		単 位 数	1単位	
使 用 テキスト1	書 名	ペットの飼養管理			
	著 者	公益社団法人 日本愛玩動物協会			
	出版社	株式会社 インターズー・クリニッククラブ			
使 用 テキスト2	書 名				
	著 者				
	出版社				
参考図書	やさしいエキゾ学				
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ 演習 ・ 実習 ・ 実験 ・ その他 ()				
<p><授業の目的・目標> 学校で飼育している動物の取り扱いや日常的な管理をまずは座学を通し学ぶ。実際に体験することにより、最終的に飼い主に正しいアドバイスができるようになることを目標とする。</p>					
<p><授業の概要・授業方針> ①動物の状態を観察する目を持つ事、摂取カロリーや栄養バランス、安全な散歩のテクニックなど「管理する世話」を学ぶ。健康管理面では投薬や保定などの技術の習得も目標とする。 ②実習前後の講義では、健康管理、飼い主教育に必要な知識の習得を目指す。 ③グループ作業の実施により、チームで働く上での心構えや協調性を養う。又、服装、及び時間厳守など社会人として最低限必要を守る意識を育てる</p>					
<p><成績基準・評価基準> 前期、後期に筆記試験において評価を行う。筆記試験は、授業内容から出題をする。100点満点とし、80点以上「優」、70点以上「良」、60点以上「可」59点以下を「不可」とする。「不可」の者は追試験を行う。追試験でも合格点に満たなかったものは、「評価なし」とし進級認定会議時に審議を行う。</p>					
<p><使用問題集・注意事項></p>					

＜授業時間外に必要な学修内容、関連科目、他＞		
授業科目名	飼養管理学	
回	授業内容	備考
1	科目主旨 目標説明・PALファミリーについて	
2	ハムスターについて①（生体の特徴・飼養方法・接し方）	
3	ハムスターについて②	
4	ウサギについて①（生体の特徴・飼養方法・接し方）	
5	ウサギについて②	
6	モルモットについて①（生体の特徴・飼養方法・接し方）	
7	モルモットについて②	
8	フェレットについて①（生体の特徴・飼養方法・接し方）	
9	フェレットについて②	
10	生体を使用した健康チェック・接し方・お世話に入る前の注意点	
11	PALでのお世話の仕方について①	
12	事故に合わないために（考えられる安全対策・感染症）	
13	ワクチンとは（ワクチン接種する目的・感染症予防）	
14	避妊去勢について（目的と必要性・メリットデメリット）	
15	前期のまとめ	
16	小鳥の飼い方①（生体の特徴・飼養方法・接し方）	
17	小鳥の飼い方②（生体の特徴・飼養方法・接し方）	
18	小鳥の飼い方③（生体の特徴・飼養方法・接し方）	
19	爬虫類の飼い方①（生体の特徴・飼養方法・接し方）	
20	爬虫類の飼い方②（生体の特徴・飼養方法・接し方）	
21	犬について①	
22	犬について②	
23	犬（動物）と暮らすということ（犬の魅力・欲求・制約・寿命）	
24	犬迎える前にやっておくこと（安全対策・接し方の統一）	
25	犬便の状態とボディコンディションスコア	
26	猫ってこんな生き物①	
27	猫ってこんな生き物②	
28	子犬・子猫の育て方①	

29	老犬の飼い方①	
30	老犬の飼い方②	
31	後期まとめ・後期試験の範囲説明	